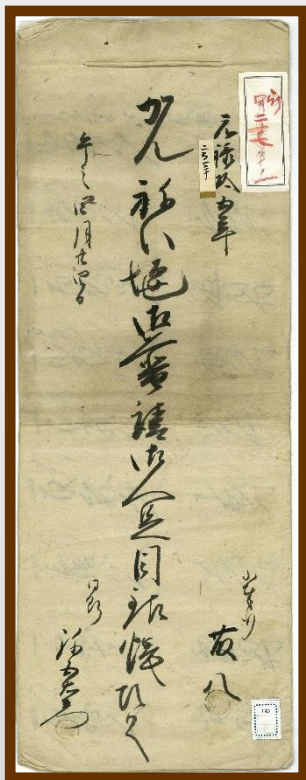


長野市公文書館便り

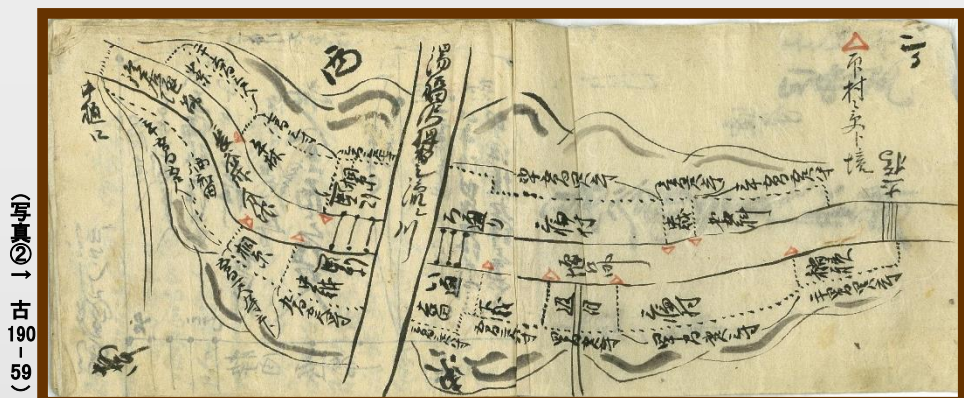
2020
Spring

©NaganoCityArchives

●発行日：令和2年(2020年)4月20日 ●発行：長野市公文書館

かな い せぎ
「鐘鑄堰組合文書」を初公開

(写真①) ← 古190-1



(写真②) → 古190-59

長野県立歴史館からの情報提供を受けて、古書店が取り扱っていた「鐘鑄堰組合文書」(213点)を購入、その後見つかった史料を含め計229点を公開しました。史料は元禄15年(1702)から昭和12年(1937)まで235年間にわたっています。

堰の名称の変遷を残されている史料でみると、元禄15年(写真①)から宝永4年(1707)までは「かんねい堰」、享保7年(1722)まで史料がないので初出の年次は不明ですが、この年には「鐘居堰」の名称が登場しています。時代が下って明治11年(1878)12月、初めて「鐘鑄堰」が使用されています。

鐘鑄堰は裾花川から取水し、浅川扇状地の縁に沿って水路が作られています。江戸時代の灌漑範囲は、松代領の水内郡妻科・三輪・返目・桐原・吉田・中越・下越・北高田・北平林・西和田・稲積村、幕府領の権堂村、越後権谷領の間御所村で、石高五千石余の面積が用水を利用しました。

鐘鑄堰は斜面を横切って、等高線に沿って流れる横堰で、水の流れは緩やかで特に右岸の土手を強固に築く必要がありました。また大雨になると城山や浅川扇状地から沢水が押し出し、その度に左岸から水路が破壊されました。なかでも湯福沢の被害が甚大で、ここに長谷越という立体交差の設備を作って何とか被害を少なくしよう努力してきました。

洪水になると大量の土砂が堆積するために、堰組合の村々は度々土砂を掘り浚い、土手を補修しなければなりません。文政8年(1825)3月の史料でみると、湯福沢との交差点両岸に組合村々の分担箇所が明示されています(写真②)。各村への割当人数は、最多の三輪村が856人、最小の稲積村が52人、合計2,624人でした。長谷越は木製のため、年数がたつと腐朽して建替えなければなりません。安永6年(1777)には、3ねの高さの場所に、長さ12.6ね、横2.4ねの桶を新規に建替えています。この桶に本柱16本、間柱28本、梁持木8本、腰板140枚、釘1,140本などが必要とされ、大工延べ25人、人足延べ254人が建設に従っています。

堰組合の村々が莫大な労力と資材を投入して、維持・管理・利用してきたことが学べる「鐘鑄堰組合文書」が公開の運びとなりました。先人の労苦に思いを寄せつつ、多数の市民の皆様が利用されることを願っています。

『市誌研究ながの』27号発売中



★B5判・244頁 頒布価格1,600円(税込)

今号は、公文書館移転記念講演「中世の善光寺と善光寺信仰」の収録、松代藩「寛保改革」の前提としての元文年間の史料分析、大本願所蔵『善光寺五重塔図』の建築・彫刻に関する検証、明治初頭の村学に関する論考、大正から昭和初期の長野中央道路(通り)拡張直後の沿道建築の考察等論文・研究ノート10編を収録しています。

日々是文書 ~スタッフ通信~



【活動記録】

- 1/27 豊野区役員視察見学 8人
- 2/20.21 文献史料保存活用講習会参加
- 3/18 上田市役所職員視察 3人

【公開資料】・行政刊行物 39点

- 栗原幸一文書(古文書1点)・田畑家文書(古文書1166点)・鐘鑄堰組合文書(古文書229点)・宮澤澄子文書(古文書57点)・長野市役所非現用文書145点



※長野駅東口より徒歩 約25分

【公共交通機関のご案内】

長電バス又はアルピコ交通「日赤」下車、徒歩3分

- 長野駅(東口)からは、長電バス
日赤経由アークス中央・ビッグハット・水野美術館方面行をご利用ください。
- 長野駅(善光寺口)からは、アルピコ交通
日赤経由大塚南・松岡・サンマリン方面行をご利用ください。

※駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

長野市公文書館

所在地 〒380-0928
長野市若里六丁目6-2
長野市若里分室内

電話 026-224-0701
FAX 026-224-0702
E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp
ホームページ <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

資料紹介

覚えてる?



刊 18
156
843
C

写 C 194
46
47
↓



冬季長野オリ・パラが開催されてからもう20年以上がすぎました。残念ながら今年の2020東京オリ・パラは一年延期になってしまいましたが、当時飯綱高原スキー場はたくさんの人で賑わいました。→

↑の写真は昭和42年飯綱高原スキー場が出来た頃の「広報ながの」の表紙です。男性たちカッコ良く決めていますね。

最近では地球温暖化のせいか、雪不足でとうとう今シーズンで営業が終わりました。記憶と記録どちらも残しておかなくてはなりません。



飯綱高原スキー場のモーグル会場

こんなときにはご相談ください。

☆古い土蔵などを取り壊すので、古文書や古い写真等の所蔵資料を寄贈・寄託したい。☆所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。

※表記されている番号は資料番号です